

第10回利賀ダム建設事業監理委員会資料

- 資料－1 利賀ダム建設事業の概要
- 資料－2 第9回委員会の審議結果
- 資料－3 事業の実施状況等に関する事項
- 資料－4 コスト縮減に関する事項

利賀ダム建設事業の概要

北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所

利賀ダム建設事業の概要

- 河川名： 一級河川庄川水系利賀川
- 位置： 富山県南砺市利賀村
- 事業費： 約1,640億円
- 工期末： 令和13年度



①洪水調節

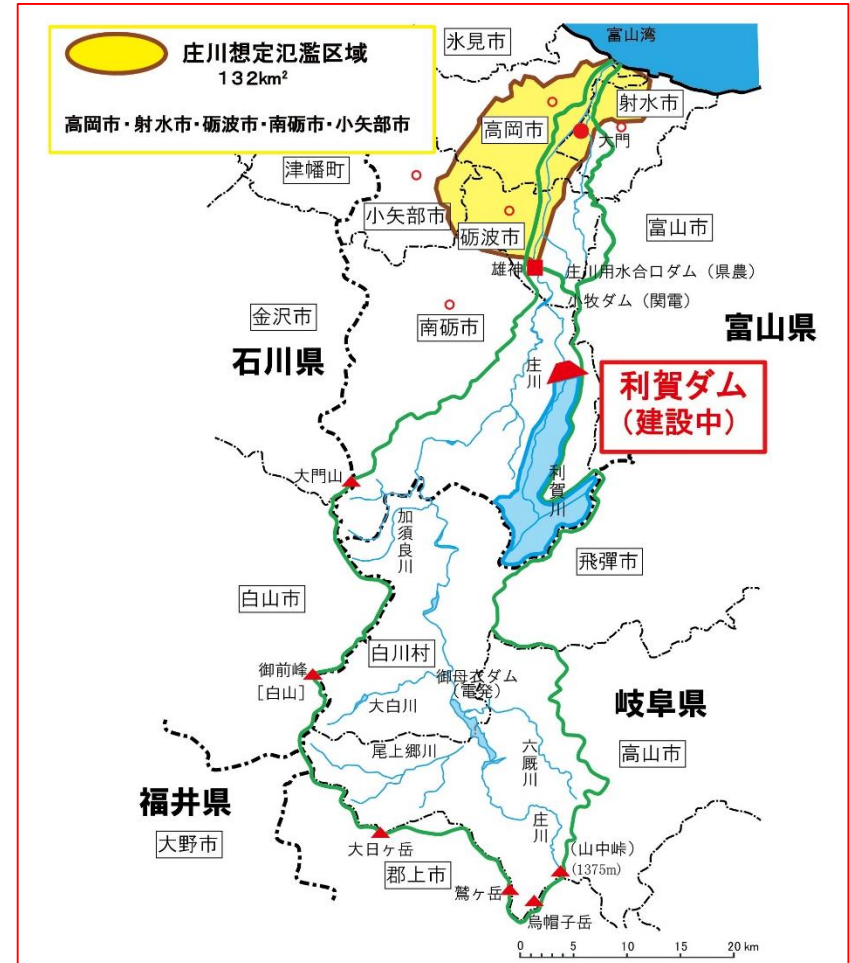
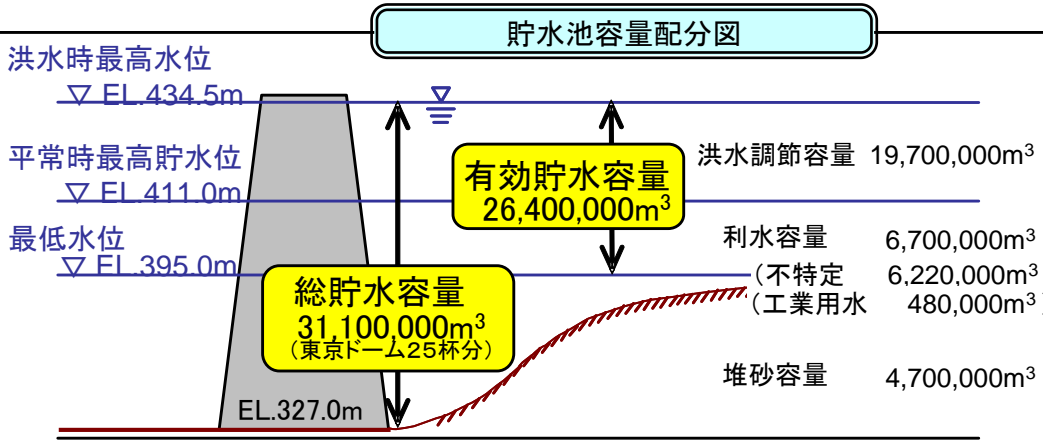
ダム地点の計画高水流量770m³/sのうち、500m³/sの洪水調節を行う。

②流水の正常な機能の維持

庄川本川及び支川利賀川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

③工業用水道

富山県に対し、庄地点において、工業用水として新たに1日最大8,640m³/日(0.1m³/s)の取水を可能ならしめる。



利賀ダムの概要

利賀ダム建設の目的

①洪水調節

ダム地点の計画高水流量770m³/sのうち、500m³/sの洪水調節を行う。

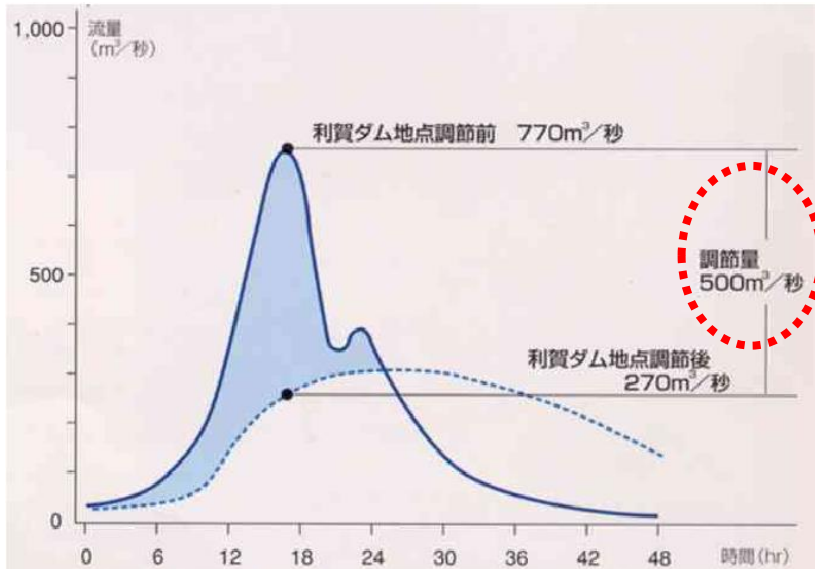
②流水の正常な機能の維持

庄川本川及び支川利賀川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

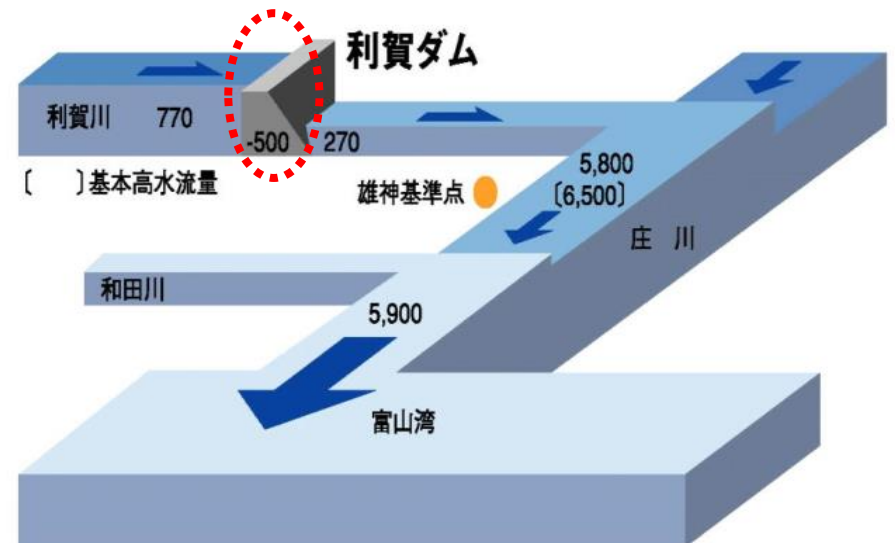
③工業用水道

富山県に対し、庄地点において、工業用水として新たに1日最大8,640m³/日(0.1m³/s)の取水を可能ならしめる。

◆洪水調節図



◆計画高水流量配分図




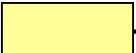



利賀ダム建設事業の経過

- | | |
|---------|---|
| 平成元年5月 | 実施計画調査に着手、利賀ダム調査事務所開設 |
| 平成5年4月 | 建設事業に着手、利賀ダム工事事務所に改称 |
| 平成6年11月 | 基本計画告示 |
| 平成15年9月 | 水没家屋全戸（3戸）生活再建地へ移転完了 |
| 平成19年7月 | 庄川水系河川整備基本方針策定 |
| 平成20年7月 | 庄川水系河川整備計画策定 |
| 平成21年3月 | 基本計画（一部）変更告示 <ul style="list-style-type: none">・総事業費 約900億円 → 約1,150億円・予定工期 平成20年度 → 令和4年度(平成34年度) |
| 平成22年9月 | 国交大臣から利賀ダム事業の検証に係る検討の指示 |
| 平成28年8月 | ダム事業の検証に関する対応方針決定（継続） |
| 令和2年8月 | 基本計画（一部）変更告示 <ul style="list-style-type: none">・総事業費 約1,150億円 → 約1,640億円・予定工期 令和4年度 → 令和13年度 |
- 事業の進捗 約39%（R3年度末 変更事業費ベース）

利賀ダム建設事業の進捗状況

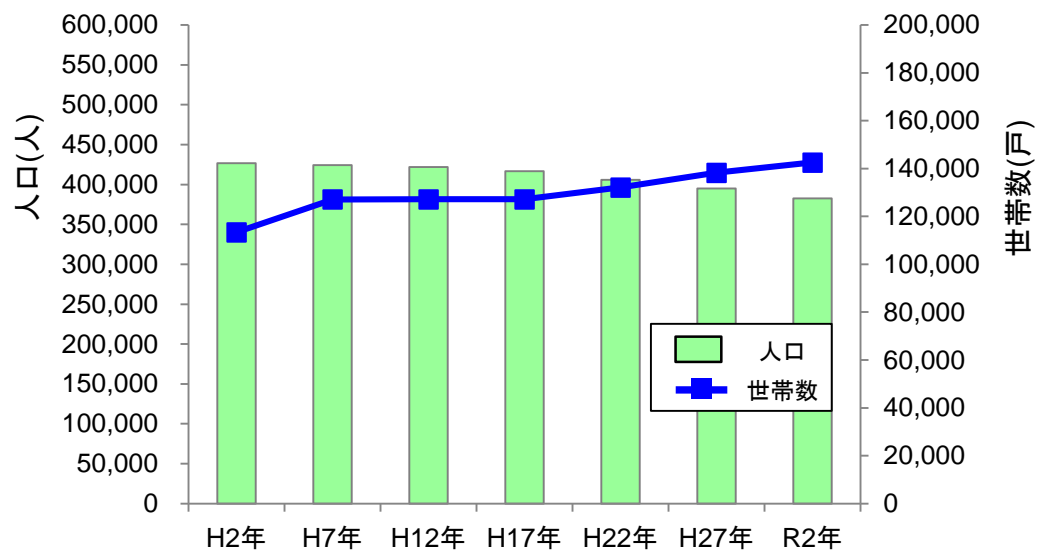
(令和4年3月末時点)

補償基準	H12. 3 利賀ダム工事用道路建設に伴う補償基準妥結 H14. 12 利賀ダム建設事業に伴う補償基準妥結 H15. 6 利賀ダム工事用道路等（ <small>くちやま</small> 口山地区）補償基準妥結	} 地権者との用地補償等に 係る基準は全て妥結
用地取得 (156ha)	71% (111ha)	
家屋移転 (3戸)	100% (3戸)	
代替地(宅地)	100% (3戸移転済)	
付替市道 (3.0km)	93% (2.8km)	
工事用道路 (11.7km) ※現道改良区間を除く	88% (10.3km) ※工事用道路11.7kmのうち9.1kmは、国道471号バイパスとの合併施行	
ダム本体及び 関連工事	転流工 0% — 基礎掘削 0% — 本体打設 0% — 転流工閉塞 0% — 試験湛水 0% ※R3年度転流工工事契約	

※  - 用地取得  - 代替地  - 付替市道  - 工事用道路  - 本体関連

事業を巡る社会情勢等

- 庄川沿川の想定氾濫区域関連市町村(高岡市、射水市、砺波市、南砺市、小矢部市)人口は40万人程度で近年減少傾向が見られるが、平成27年3月に北陸新幹線が開業し、人・経済・文化等の幅広い交流・流通拠点として、今後更なる地域開発が期待されている。



※H2年～R2国勢調査結果による

図 想定氾濫区域 関連市町村人口推移

